

# NACSIS-CAT/ILLと電子資料



国立情報学研究所学術基盤推進部  
学術コンテンツ課図書館連携チーム  
(CAT/ILL担当)  
吉田 幸苗



# 1. 電子資料をCATに登録する

- 総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱い(暫定案)(2000)
- 電子ジャーナルに関するコーディングマニュアルの改訂(2001)
- 電子ジャーナル(ScienceDirect及びIDEAL)書誌レコードの作成(2001)
- 電子ジャーナルの総合目録データベース所蔵登録に関する調査(2002)
- 総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱いについて(2004)
- リモートアクセスされる電子ブックに関する取扱い案(2009)
- リモートアクセスされる電子ブックの取扱い及び解説, コーディングマニュアルの公開(2010)
- リモートアクセスされる電子和図書書誌レコードの事前登録作業(2010)

以上, 『NACSYS-CAT/ILLニュースレター』より



# 1. 電子資料をCATに登録する

- 電子ジャーナルと電子ブックの書誌・所蔵(アクセス可能範囲)をCATに登録することは原則として可能。
- 但し, 紙と同じようにはいかない。

例:VOL積み

- ライセンスについての情報はどうか？
- アクセス可能範囲の更新の問題。メンテナンスの在り方が不明確であった？
- OA資料を登録するインセンティブがあるか？

→**電子リソース管理データベース(ERDB)へ**



# 1. 電子資料をCATに登録する

NACSIS-CAT 電子資料レコード作成件数 (GMD=w, SMD=r, IDENT含URI)

年度	図書	雑誌	合計
2001年度		1,880	1,880
2002年度		1,914	1,914
2003年度		24	24
2004年度		338	338
2005年度		3,207	3,207
2006年度		90	90
2007年度		88	88
2008年度		61	61
2009年度		168	168
2010年度	1,200	175	1,375
2011年度	56	289	345
2012年度	4	287	291



## 2. 電子資料をILLする

- ラスト・リゾートとしてのILL。
    - ILLの件数は順調(?)に減少中。
    - 電子資料の普及が原因。
  - 従来通りの電子資料契約が可能か。
    - 円安, 資料費減...
  - 再び, ラスト・リゾートとしてのILL。
    - しかし, CATに登録されているか?
    - ライセンスに基づくILL。しかしライセンス情報は?
- 電子リソース管理データベース(ERDB)へ**



## 2. 電子資料をILLする

.....

### NACSIS-ILL終了レコード件数

年度	複写	貸借	合計
2005年度	1,098,532	100,742	1,199,274
2006年度	1,054,903	101,030	1,155,933
2007年度	991,032	102,491	1,093,523
2008年度	945,602	105,842	1,051,444
2009年度	859,798	101,213	961,011
2010年度	789,397	94,813	884,210
2011年度	760,947	90,180	851,127
2012年度	721,349	92,877	814,226



# 3. NACSIS-CAT/ILLと電子資料

- ERDB整備までのつなぎ？
- 紙資料(のメタデータ)は電子資料へのナビゲートのスタート地点(の一つ)。
  - IDDB, NOTEフィールドへのURL記述
- 別の言い方をすると, 現行のCATをERDB化する選択肢はない。



## 4. その他

いくつか(天の)声を拾ってみました...

- 日本古典籍総合目録DBのデータがCATにあると和古書や和古書(電子版)の登録が促進される。
- コーディングマニュアルの電子ジャーナルや電子ブック部分が暫定版のままである。
- ERDBとの関係